

富田林



議会だより

No.256 6月定例会号

盆踊り大会(喜志町)



令和6年第3回(9月)定例会

8月28日(水)	本会議(議案上程)
9月 5日(木)	本会議(一般質問)
6日(金)	
9日(月)	本会議(議案質疑)
11日(水)	総務文教常任委員会
12日(木)	建設厚生常任委員会
19日(木)	予算決算常任委員会
20日(金)	予算決算常任委員会
24日(火)	予算決算常任委員会
26日(木)	本会議(委員長報告)

※いずれも午前10時開会予定

CONTENTS

第2回定例会の概要	2
常任委員会の審査概要	2～3
一般質問	3～7

富田林市議会

検索



www.city.tondabayashi.lg.jp/site/gikai

活動に対する助成金である

が、事業内容等を聞く。

答 地域のコミュニティ活動に直接必要な設備等の整備に関する「一般コミュニケーション助成事業」で、本市は地域コミュニティ活性化のため、町会・自治会などを対象にしている。一般公募から一団体を抽選し申請したもの、今回事業内容は、秋祭りにおける地域の連帯感向上のため、地車の飾り幕を購入予定である。

問 農業公園管理運営事業の施設管理費負担金について聞く。

答 農業公園内で農地に灌漑水を供給するパイプラインの維持管理費で、東条地区土地改良区が所有、管理しているため、同土地改良区へ支払う負担金である。

問 今回の補正予算上程の根拠について聞く。

答 本年四月に農事組合法人富田林市南地区協同組合と合意書及び確認書を締結したことに伴い、令和六年度は本市が農業公園施設等を管理し、次期指定管理者へ適切な状態で引き継ぐ必要が生じたため。

問 来年度の開園に向けた次期指定管理者の募集や

選定スケジュール等について聞く。

答 土地権利者との賃貸借契約の調整を九月末目途に進め、契約が見込めたうえで、本市ガイドラインに基づき公募手続きを実施する予定で、次期指定管理者として議会の議決を経た後、協定書締結を考えている。

問 ぶどう園、みかん園、その他果樹園は、それぞれ何本定植しているか。

答 ぶどうは約八百二十本、みかんは約百六十本、その他の果樹は約二百二十本である。

問 中央図書館事業について、ICTタグ導入によりどんなメリットがあるか。

答 セルフ貸出機により利用者自身で貸し出し手続きが完了できるため、処理時間の短縮が期待できる。

また、出入り口に「貸出継続確認装置」を設け資料管理の徹底を図れ、蔵書点検にかかる日数も短縮できる。

問 返却処理は従来通りとのことだが、自動返却機は導入しないのか。

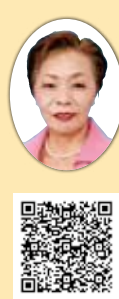
答 返却された資料の状況の確認が必要ことから、今回は導入を見送っている。

一般質問

会派代表質問

子どもたちを守るためのアプリ利用推奨について

公明党 遠藤 智子



問 スマートフォンでの写真・動画撮影とSNS投稿は、個人の情報を公開する行為であり、インターネット上での自撮り写真・動画の共有は、子ども自身が被害者にも加害者にもなりえるなどの危険性が潜んでいる。近年、性的な自撮りに関する被害が増えている。令和三年に、愛知県警等が開発したアプリ「コードマモ」は、AI人工知能を利用して被害を防止するもので、犯罪抑止力や、親子の対話促進、子どもが被害者にも加害者にもなることを予防するなどの効果が期待される。子どもたちが、犯罪に巻き込まれる危険性を遠ざけ、トラブルを未然に防ぐ手立てを講じること

が重要であると考えている。

本市でも、子どもを守るために「コードマモ」の周知・啓発を行ってはどうかと考えるが、見解を聞く。

答 近年、全国的に増加するSNSを利用した犯罪から子どもたちを守るために、本市でも、各小中学校の指導計画に基づき、発達段階に応じて、「非行防止教室」などの情報モラル教育等に取組み、SNSの利用や個人情報漏洩について注意喚起等を行っている。「コードマモ」は、犯罪被害防止対策としても、有効な手段の一つであることから、情報モラル教育の充実に加え、校長会・教頭会での紹介や、各学校の入学説明会やPTA研修会、学校だより等で保護者への周知にも努め、子どもたちをSNSによる犯罪被害から守る取組みを進めていく。

聞き取り困難症／聴覚情報処理障がいについて

問 聞き取り困難症／聴覚情報処理障がい（LID／APD）は、一般的に難聴とは異なり、聴力検査では正常な結果が出るにもか



かわらず、音や声を言葉として聞き取るのが難しい中枢性難聴の一つで、周囲の理解を得ることが難しいという問題がある。また、LID／APDの認知度が低く、診断できる病院が少ないため、診断を受ける人も少なく、支援が行き届いていないのが現状である。

特に小児に対する公的支援や行政からの情報発信が不足しており、学校で関わる児童生徒とその保護者を含む全ての方々への周知と理解を深めるための説明会や特別授業などの実施、教師やカウンセラーなどの学校スタッフが適切な支援方法を学ぶなどの取組みを進めていくべきと考えるが、どのような周知と理解増進をしていくのか見解を聞く。

答 LID／APDについては、児童生徒や保護者

その他の質問

○防災力充実について
○HPVワクチンの接種の推進について

にとっては聞こえにくさの原因が分からず、悩みを抱えたままになってしまふことや、早期に適切な支援に結びつきにくいという課題があることから解決に向けて、教職員や児童生徒・保護者に対し、啓発や理解増進を図ることに加え、学校で関わる教職員については、子どもたちの日常生活の様子や学習状況、つぶやき等から教職員がLID／APDの可能性に気付き、保護者と共有することで、より早く、必要に応じた適切な支援につながるように、取り組んでいく。



会派代表質問

本市の特殊詐欺対策について

とんだばやし未来 南齋 哲平



問 特殊詐欺の被害者の多くが高齢者であり、近年本市内においても、被害認知件数が増加している。

本市が貸し出す自動通話録音装置には台数に限りがあり、高齢者の安心と安全を確保するためのさらなる対策を講じるため、早急に特殊詐欺撃退装置付き電話機の購入費への補助を行う必要があると考えるが市の見解を聞く。

答 また、高齢者など被害者となり得る人たちの安心できる生活環境を特殊詐欺から守るという本市の姿勢を示すためにも、特殊詐欺撲滅宣言を市として掲げ、今後の被害が限りなくゼロに近づくよう取組むことについて、市の見解を聞く。



未来の富田林のために

問 本市は消滅可能性自治体などと言われているが、

市立小中学校の生徒数は全体では減少しているものの、マンション建設や住宅開発などがある校区では増加がみられるため、子育て世代が住みたいと思う生活環境づくりをこれからも進め、住みたいと思う住戸があれば、まだまだ本市は新たな子育て世代に選ばれる余地があるのではと考える。

また、住戸は行政だけでなく対応できるものではないが、更なる空き家バンクの活用や、金剛団地・金剛東地区のUR物件についてURと一層の協議を進めることなど出来ることはある。

答 今後、子育て世帯への更なる支援の充実とともに、住環境整備も視野に入れた政策も必要と考えるが、富田林市の未来のために「何が出来るか、何をしなければいけないか、見解を聞く。

援施設、教育環境の整備など、多面的に取り組みを進めていくことが重要であるほか、人口減少への歯止めだけでなく新たなコミュニティ醸成による地域活性化が期待されている。

児童・生徒数の推移とその要因を分析の上、新たな住環境の整備と効果的な空き家対策の推進を両輪として、すべてのこどもをみんなで応援するまちであることを十分に発信し、魅力ある富田林市へと発展していくために、地に足をつけ多種多様な取り組みを、全庁一丸となって進めていく。

その他の質問

○水路等維持管理について
○小中一般教育の更なる推進に向けて

会派代表質問

子どもに対するLGBT教育の不安の声について

自民・笑顔の会 南方 泉



問 子を持つ母親、保護者の不安な声、幼稚園の先生の疑問の声もあり確認する。本市で行われた幼稚園での「LGBTQ+」の臨時講師（当事者）による授業を見学した際、大人の性自認の話を幼い子どもたちには理解できず、困るような表情を見せていた。小学校の低学年、思春期を迎える中学生に対してもそうだが、多感な時期だからこそ

子どもは、不安な声、幼稚園の先生の疑問の声もあり確認する。本市で行われた幼稚園での「LGBTQ+」の臨時講師（当事者）による授業を見学した際、大人の性自認の話を幼い子どもたちには理解できず、困るような表情を見せていた。小学校の低学年、思春期を迎える中学生に対してもそうだが、多感な時期だからこそ

熱中症は誰でも危険！油断は大敵です！

熱中症予防行動をとりましょう！

熱中症警戒アラートをチェック！

見守り・声がけ！

適切にエアコンを使おう！

こまめに水分・塩分を補給！

より詳しい情報は

熱中症予防情報サイト

検索

子どもの身体と心の発達段階に対応し教育することが大切だと考える。LGBT理解増進法では「幼稚園を除く」と記載されているが、幼児に教える意義について聞く。海外ではLGBT教育が学校で行われた結果、思春期の子どもがLGBTのどれかであると自認し、不安になり医療機関を受診した結果、ホルモン剤接種や乳房や生殖器の摘除手術等に進み、後悔した子どもが後戻りできず、自殺するなどの事例も多数あり課題山積だと考える。また保護者などには通達しているのか。

答 本市立幼稚園では、多様な仲間理解につながる教育の実施に努めており、LGBT当事者で元保育士の方を講師に招き、絵本の読み聞かせなどを実施していたが、LGBT理解増進法が令和五年六月に施行した後は、LGBTに関する新たな教育活動の計画を行っている。

また、LGBT教育については、事前に保護者にお知らせするとともに、送り迎えの際に内容をお伝えしている園もある。



新型コロナウイルス接種 が原因の死亡について

問 コロナワクチン接種による国内での異常なまでの死者数や重篤副作用報告について警告してきたが、コロナワクチンを接種して亡くなり、国に死亡認定された方はすでに五百九十六名以上に上る。

市民からの相談において、接種後の体調不良、心筋梗塞、接種の翌日に死亡、接種の四日後に死亡などの相談報告もある。

本市が把握する日本国内の接種後死亡者数と重篤副作用者数と健康被害救済制度における死亡一時金又は葬祭料の進達受理件数と認定件数について聞く。又、



秋からの定期接種に向けて市民に接種後死亡リスクを伝え、医師会との連携強化や更にはワクチン接種ハラスメント防止にも務めるべきであると考え。市民・国民、こどもの命が掛かっているのだから明らかにすべきで、人道的に危機感を覚えているため、見解を聞く。

答 令和六年四月十五日までの国内の接種後死亡者数は千六百三十三人、重篤副作用者数は八千八百八十七人、同五月三十一日までの健康被害救済制度へのワクチン接種に係る死亡一時金又は葬祭料の進達受理件数は千三百七十二件、認定件数は五百九十六件である。

本市としては、国から通知があれば接種に関するリスクや救済制度の情報も含め広報誌や市ウェブサイトにLINE公式アカウント等で情報提供を行い、接種後の副反応や死亡者の状況についても、引き続き市ウェブサイトに掲載していく。

その他の質問

○金剛中央公園について
○本市開催イベントでの女性スペース確保について

会派代表質問

市立幼稚園のあり方について

大阪維新の会 伊東 寛光



問 市長は三月議会で、「令和六年度のなるべく早い時期に、改めて市の考え方及び今後の方向性について皆さまに示して、理解を得たい」旨の答弁をした。

当然、この四月、五月の間に動きがあるものと考えていたが、六月になっても全く動きが見えない。

一方で、「令和六年度公立幼稚園合同説明会」まであと約一ヶ月しかない。何ら市の方針を示さない中で合同説明会が行われるのは、いかがなものか。

この間ずっと提案し続けていることだが、以前適用されていた「二年連続一桁の園児数だった場合、翌年度から順次募集停止にする」というルールの復活だけでなく直ちに決断し公表すべきだと考えるが、市長の見解を求める。

なお、仮にこのルールを復活させたとしても、市として「市立幼稚園をどうしていくのか」という答えにはならないため、「今後の方向性を示した」ことにはならないのは言うまでもないが、念のため申し添える。

答 三月議会以降、理事者と幼保あり方PTが今後の市立幼稚園の方向性について検討する場を持ち、適切な運営基準の設定や公立幼稚園の果たす役割などについて議論を進めているが、具体案は検討中である。

議員ご指摘のルールを適用することも含め、七月二十日に合同説明会を実施することも視野に入れ、なるべく早い時期に改めて市の考え方や今後の進め方を示す予定である。

受益者負担の適正化について

問 行政サービスは、受益者負担額と市税等を財源に提供されている。すなわち、サービスを受ける方が負担する使用料や手数料で賄えない部分は、税金で補填されているとも言える。

サービスを提供するためには、土台となるが、必要となる原価を公表し、受益者が負担すべき割合を定めることが、サービスを受ける方と受けない方の負担の公平性や公正性の確保、行政サービスの持続可能性向上につながると考える。

「仮称・受益者負担適正化ガイドライン」の策定と受益者負担率等の公表を求めるが、市の見解を聞く。

また、減免制度は社会的弱者とされる方々への配慮など政策的な判断等により適用されるものだが、減収分は税金で補填されることになるため、相当の説明責任を果たす必要がある。

減免対象・内容等の見直しも検討すべきだと考えるが、市の見解を聞く。

答 受益と負担の適正化

市立幼稚園の園児数(R6.5.1現在)

園名	3歳	4歳	5歳	計
富田林	8	9	13	30
新堂	7	3	8	18
喜志	16	17	21	54
大伴	4	8	4	16
彼方	1	9	6	16
錦郡	2	12	5	19
川西	13	13	7	33
青葉丘	9	10	9	28
伏山台	0	3	7	10
津々山台	8	17	17	42
合計	68	101	97	266

※板持・東条・喜志西は休園中

その他の質問

○市立図書館のあり方について
○DXの推進について

個人質問

本市職員の
人事異動について

坂口真紀



問 今年度の人事異動の内示は三月議会最終日の翌日であった。新体制までの引継ぎ期間はわずか二日。学校等の教育現場では一部の会計年度任用職員の人事異動の内示は、さらに二日後であったと聞いている。各現場で円滑かつ効率的な事業執行には引継ぎ期間があまりにも短い。本市の内示時期の妥当性について見解を聞く。又、円滑化や異動後の業務効率向上、異動前後の負担の分散を目指し、内示のタイミングを見直し、内示のタイミングを見直してはどうか。予算委員会終了後や四月一日付にこだわらず比較的業務が落ち着いている時期に実施することなど、現状の非効率なタイミングを見直して頂きたいが市の見解を聞く。

答 内示時期は、概ね一

個人質問

長期休業期間のみの
学童クラブ利用について

酒本千紘



週間前を目安としているが、確保できていない状況であり、引継ぎに関する負担が大きくなっている為、内示のタイミングが妥当とは言いにくい状況にある。

窓口部署においては繁忙期が落ち着いた後で異動を行うことに一定のメリットはあるが、退職・採用の定期的な異動は四月一日付で実施していることや事業は、四月から開始されるものが多く、年度途中の異動は部署によっては引継ぎ内容が複雑になり、安定的に業務を実施しにくいなどデメリットもある。いずれにしても、メリット、デメリットを整理する中で、職員がスムーズに職務に臨めるよう次年度に向けて効果的な異動内示のタイミングを検討していく。

その他の質問

○命を守る防災対策の充実
○市立幼稚園・保育所のあり方について



個人質問

サバーファームの令和七
年度開園に向けて

京谷 精久



問 本市では、小学校等に通う児童で、放課後に保護者が就労等で不在の富田林市在住の児童を対象に、児童の健全な育成を図るため、市内の十六小学校で学童クラブを開設している。直近五年間の利用状況、及びその特徴について聞く。

また、学童クラブの夏休みなどの利用を可能にしてほしいという市民の要望について伺う。

その他の質問

○子育て支援について
○若者会議について

者が安心して子育てと仕事を両立できるような環境を本市も整備すべきだと考えるが、市の見解を聞く。

答 本市は現在、十六小学校で三十一クラスの学童クラブを運営し、待機を待たずに受け入れ、定員超過時はクラス分割を行っている。直近五年の利用状況は、令和二年度が一一六九人、令和三年度が一一九七人、令和四年度が一一六二人、令和五年度が一二〇七人、令和六年度が一二二四人と増加している。高学年では利用が減るが、夏休み明けに退所が集中する傾向がある。夏休みのみの利用については要望を認識しているが、職員確保や施設基準等の問題から現行の継続利用にしており、一時利用は今後研究する。



個人質問

サバーファームの令和七
年度開園に向けて

京谷 精久



問 農業公園サバーファームの再開までの間、施設を適切に維持し、できる限り健全な状態で引き継ぐことで次期指定管理者の経営の早期安定化が図れると考える。本市として農業公園の再開に向けた休園中の維持管理計画等の作成も含め、適正な維持管理の在り方について市の見解を聞く。

その他の質問

○地域公共交通とレインボーバスのあり方について
○更なる企業誘致について

また、府内最大規模の食と農ある暮らしの魅力ある体験拠点として農業公園の再生に取り組むなど大事なコンセプトと視点を踏まえ、本市として新たな指定管理者に求める農業公園の運営など、募集の基本的な方針について見解を聞く。

答 おどろなどの果樹については、水やりや摘花などの最低限の肥培管理が必要であると考え、他の施設を含め次期指定管理者に引継ぐためにも、計画的に適正な維持管理に努めていく。また、次期指定管理者による運営の早期安定化についても、提案内容を踏まえ、積極的に支援していく。

次期指定管理者の公募にあたっては、農業公園創設時の基本的理念を継承しつつ、新たな方向性を踏まえた提案を募ることができるよう手続きを進めていく。

また、広大なおどろ園等の農業公園の最大の特徴を活かしつつ民間企業等の持つ企画力や経営力によるリピーターの確保や、地域の雇用確保や直売施設の拡充や販売強化に伴う地元農家の所得向上など、持続的な地域振興の拠点施設としての機能を果たす新たな提案を期待したいと考えている。



個人質問

本市の獣害対策の
将来像と有益性について

岩崎 哲也



問 東条地区でイノシシの被害が増加している。鳥獣被害防止対策として、農地に電柵の設置が急増している。電柵を設置した場所は被害が出なくなったが、設置していない場所の被害が増えているため、電柵以外の対策が必要である。

高齢化が進む中、少しでも負担を軽減するために、島本町では、狩猟免許の取得支援や若い世代の育成を具体的に進めている。

また、AI技術を活用したわなで狩猟者の負担軽減を図っている。

本市も若い世代の育成や「スマート捕獲」を推進すべきだと考えるが、市の見解を聞く。

加えて、島本町では捕獲したシカやイノシシをジビエ料理として提供するビジ

ネスモデルが成功している。

本市もイノシシと特産品であるナスを使ったジビエ料理で魅力を発信すべきだと考えるが、市の見解を聞く。

答 近年、実行組合の方々の高齢化や担い手不足に伴い、捕獲するための檻の管理に負担が増しており、厳しいという声を聞いている。

このような中、デジタル技術を活用し、農作物に被害を与える鳥獣を捕獲する「スマート捕獲」は、鳥獣被害防止に取り組む方々の負担を軽減できる技術として活用が期待できるため、調査研究を進める。

また、本市には食肉処理加工施設がなく、早急な食品利用は困難であるが、先進地の事例を参考に調査研究を進める。

その他の質問

○障がい者千人雇用について

○サバーファームについて



個人質問

大阪・関西万博への児童
生徒の無料招待について

寺尾 千秋



問 今年三月二十八日大阪・関西万博の会場建設現場で、メタンガス爆発事故が発生したが、大阪府内の児童生徒が無料招待される事業について、遠足・集団宿泊的行事を行う際は、安全確保が何よりも重要だと考えるが、市の見解を聞く。

答 学習指導要領では、児童生徒の安全に十分に配慮された内容であることが重要であると示されており、本市においても、その趣旨に則って実施されるべきものであると考える。

問 大阪府・万博協会などから、事件の周知やその後の対策についての説明はあったのか聞く。

答 府教育庁からは、現時点では事故の状況や対策、参加への影響などの情報は示されておらず、報道内容

についてのみ把握している。

問 大阪府が行った市内の小中学校への意向調査について、参加意向と検討中の学校はそれぞれ何校なのか、また、教員や保護者の声についても聞く。

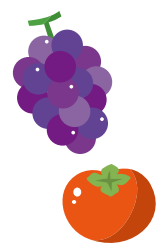
答 教員や保護者からは、交通手段や交通費、熱中症や食中毒、災害発生時の避難に関する不安等の声が教育委員会に寄せられた。府教育庁からの意向調査の回答状況については、市立小中学校二十四校すべてが参加希望で回答している。

本市教育委員会としては、万博の意義について周知するとともに、各学校が安全に安心して学校行事が行えるよう、寄せられる要望や不安等について府へ伝達し、必要な回答を得られるように支援していく。

その他の質問

○小学校水泳授業民間委託モデル実施について

○保育士の処遇改善



個人質問

JETプログラムによる
ALT受け入れについて

寺内 裕介



問 本市にはALTが一人しかおらず、他市町村の子どもたちと比べ生の英語に触れる機会や、英語を使

ってリアルにコミュニケーションをとる機会が圧倒的に少ないことは大きな課題である。

本市はもともALTが十名以上いたが、ALTを減らしすぎではないか。本市教育委員会には、子どもたちが英語を好きになって実際に話したくなる環境を作り上げてほしい。厳しい財政状況にも配慮しつつ、子どもたちの将来を見据え、国の財政措置を受けられるJETプログラムを通じてALTを受け入れるべきだと考えるが、見解を聞く。

答 JETプログラムは財政支出を抑えた形でのALT雇用につながることで

常勤での任用であることから、さらなる英語教育の推進を図るうえで効果的なものであると認識している。

しかしながら、対象となるALTの研修はもとより、来日する際の手続きや日常生活での身の回りの世話なども自治体が実施することになるため、専属の職員を配置したり、コーディネーターを民間委託したりすることで対応している場合がある。

一方で、JETプログラムの活用によるALTの充実は英語教育の一層の充実に資するものと考えており、今後さらに進展するグローバル社会や子どもたちの未来を見据えて、JETプログラムの活用について調査研究し、英語力の向上に向けた取り組みを進める。

その他の質問

○観光等における広域連携

○消滅可能性自治体からの脱却について



これが聞きたい！

一般質問

個人質問

QRコードで質問の動画が見られます。





議決結果一覧表(全会一致のみ)

件名	結果
●家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決
●一般会計補正予算(第1号)	原案可決
●国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
●介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
●人権擁護委員の推薦	異議なし
●財産の取得(消防ポンプ自動車)	原案可決
●財産区財産の処分(伏山財産区)	原案可決
●和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分報告	報告受理
●財産の交換(喜志駅乗務員休憩所)	原案可決
●財産の無償貸付(喜志駅乗務員休憩所)	原案可決
●会議規則の一部改正	原案可決
●災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書	原案可決
●聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書	原案可決
●マイナ保険証への理解増進と従来型健康保険証の原則廃止への不安払拭を求める意見書	原案可決
(令和5年度各種報告)	
●一般会計予算継続費繰越計算の報告	報告受理
●一般会計予算繰越明許費繰越計算の報告	報告受理
●水道事業会計予算繰越計算の報告	報告受理
●下水道事業会計予算繰越計算の報告	報告受理
●一般財団法人富田林市公園緑化協会の経営状況報告	報告受理
●公益財団法人富田林市文化振興事業団の経営状況報告	報告受理
●富田林学校給食株式会社の経営状況報告	報告受理

全員一致



令和6年第2回(6月)定例会 議案に対する賛否一覧表

賛否一覧表 (全員一致の議案以外を掲載します)	公明党		未来 ばとん やしだ		新大阪 の会維		会笑 顔の 自民・		無会派		議決 結果							
議 案	遠藤 智子	村山 理恵	堀辺 まゆみ	草尾 勝司	尾崎 哲哉	南齋 哲平	辰巳 真司	伊東 寛光	酒本 千紘	岩崎 哲也		寺内 裕介	南方 克久	今城 宏	西川 剛史	山本 千秋	坂口 真紀	京谷 精久
大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
議員提出議案第2号富田林市インターネット上の誹謗中傷や差別等の人権侵害のない社会づくり条例の制定について	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	退席	○	○

○賛成 ×反対 ※議長は採決には加わりません

編集後記

連日、厳しい暑さが続いています。皆さまた体調にはくれぐれもお気を付けください。議会だより二百五十六号をお届けいたします。本号では六月定例会で行われた一般質問な

どを中心に掲載しました。今後も広報委員一同、皆様に親しまれる紙面づくりに努めてまいりますので、ご愛読のほど、よろしくお願い申し上げます。
【(二五)一〇〇〇 内線九四一九】

議会日誌

五月	六月	七月
9日 議会運営委員会 幹事長会	5日 第二回定例会開会 (上程) 議会運営委員会 幹事長会	22日 広報委員会 全員協議会
16日 第一回臨時会 幹事長会	29日 議会運営委員会 全員協議会	25日 定例会五日目 (委員長報告) 議会運営委員会 全員協議会
9日 議会運営委員会 幹事長会	13日 定例会二日目 (一般質問)	21日 建設厚生常任委員会 予算決算常任委員会 議会運営委員会
16日 第一回臨時会 幹事長会	29日 議会運営委員会 全員協議会	20日 建設厚生常任委員会 予算決算常任委員会 議会運営委員会
9日 議会運営委員会 幹事長会	13日 定例会二日目 (一般質問)	19日 総務文教常任委員会 幹事長会
16日 第一回臨時会 幹事長会	29日 議会運営委員会 全員協議会	17日 定例会四日目 (議案質疑) 議会運営委員会 幹事長会
9日 議会運営委員会 幹事長会	13日 定例会二日目 (一般質問)	14日 定例会三日目 (一般質問) 広報委員会